

(別紙様式1)

平成28年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 栃木県

農業委員会名： 足利市農業委員会

I 農業委員会の状況(平成28年3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	1987	農業就業者数	1388	認定農業者	229
自給的農家数	1048	女性	974	基本構想水準到達者	2
販売農家数	939	40代以下	131	認定新規就農者	2
主業農家数	168	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	7
準主業農家数	169			集落営農経営	5
副業的農家数	602			特定農業団体	0
				集落営農組織	5

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1990	404	404			2390
経営耕地面積	1538	183	169	14		1721
遊休農地面積	28	15	15			43
農地台帳面積	2174	766	766			2940

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 2 9 年 7 月 1 9 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数	17	17	1	1	1	4	7	24
認定農業者	—							
女性	—	1				3	3	4
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 年 月 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数					
認定農業者	—				
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—				
40代以下	—				
中立委員	—				

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員			

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2322ha	949ha	40.87%
課 題	農業従事者の減少や高齢化等による耕作放棄地の増加、農地の分散等が有効利用を図る上での課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 959ha (うち新規集積面積 10ha)
	目標設定の考え方: 昨年度と同程度の目標設定とする。
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に市広報紙にて利用権設定について周知する。 ・3月流動化助成金を借り手に交付する(市単独事業)。 ・リーフレット等を活用し利用権設定の制度について周知する。 ・農家の情報を収集し人と農地プランに沿った集積活動をサポートする。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	25年度新規参入者数	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数
	1経営体	2経営体	4経営体
	25年度新規参入者が取得した農地面積	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0.03ha
課 題	農業への新規参入は条件が厳しいため、就農給付金等の制度の周知や農地の情報提供、農地のあっせんに努める必要がある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

参入目標数	3経営体	参入目標面積	1ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に農業青色申告会と協力し農地に関する相談会を開催する。 ・栃木県、市農政課と連携し新規就農希望者の情報の共有化を旨とするとともに、就農給付金制度の周知や農地の情報提供、あっせんに努める。 		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	2322ha	43ha	1.85%
課 題	特に中山間地では鳥獣害や高齢化に伴う担い手不足による農地の遊休化が進み、増加が見込まれることから、遊休農地の解消も進みにくい状況である。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 1ha 目標設定の考え方: 昨年度と同程度の目標設定とする。			
	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
活動計画	農地の利用状況調査	24人	8月～2月	9月～3月
	調査方法	管内全域を調査区域とし、道路からの目視による巡回調査を一斉に実施し、遊休化している場合は当該農地の状況を詳しく確認し地図等に記録する。		
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		9月～10月	11月～12月	
その他	なし			

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成28年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2322ha	0.6ha
課 題	違反転用の発生を防止するため農地転用許可の必要性を周知する必要がある。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の活動計画

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に農地パトロールを実施し違反転用の把握に努める。 ・定期的に市広報紙に違反転用防止の記事を掲載し啓発に努める。 ・違反転用が発見された場合は所有者に対し是正の働きかけを行う。
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入